

[引用・参考文献]

- 北海道経済産業局（2006）『観光産業の経済効果に関する調査報告書』。
- （財）日本修学旅行協会（2009）『教育旅行白書－修学旅行を中心として－ 2009 年版』，（財）日本修学旅行協会。
- 中尾誠二（2008）「農林漁家民宿に係る規制緩和と民泊の位置付けに関する一考察」『2008 年度日本農業経済学会論文集』， pp.186-193。
- 中尾誠二（2010）『農山漁村民泊と規制緩和型農林漁家民宿にみる小規模グリーンツーリズム政策の研究』，東京農工大学学位請求論文。
- 中村敏郎（2009）「都市と農山漁村の共生・対流の農山漁村地域への効果分析（動向解析）」『農林水産政策研究所レビュー』 No.32 ， pp.6-11。
- 農林水産政策研究所（2010）『行政対応特別研究資料 子どもを対象とした農林漁家宿泊体験による農山漁村振興の実態と課題』。
- 農林水産省農村振興局（2003）『学校教育における農山漁村体験の促進に関する連携方策調査』。
- 農林水産省・文部科学省（2003）『学校教育で子ども達に農山漁村体験を！』。
- 梶田徹一（2008）『新しい学習指導要領の理念と課題－確かな学力を基盤とした生きる力を－』，図書文化社。
- 小椋唯一（2007）『子供たちの観光力－教育旅行が地域を変える－』，エムジー・コーポレーション。
- 大分県企画振興部・大分大学経済学部（2008）『旅行・観光の県内産業への経済波及効果』。
- 佐伯英人・石原貴志・二橋正宏・高柳周三・宮本真由美・齋藤央美（2008）「集団宿泊の行事の教育効果に関する研究（Ⅱ）」『国立青少年教育振興機構研究紀要 青少年教育フォーラム』 No.8，国立青少年教育振興機構， pp.25-35。
- 佐藤真弓（2008）「学校教育における農業・農村体験の展開と課題－東京都武蔵野市セカンドスクール事業を事例として－」『平成 20 年度日本農業経済学会論文集』， pp.194-201。
- 佐藤真弓（2010）「都市農村交流と学校教育－武蔵野市セカンドスクール事業を事例に－」報告資料（農林水産政策研究所『農山漁村における教育交流に関するセミナー』，2010 年 5 月 26 日）。
- 佐藤真弓（2010）『都市農村交流と学校教育』，農林統計出版。
- 佐藤真弓（2011）「奥能登山村における『むらづくりの産業化』と地域社会構造」『村落社会研究ジャーナル』。
- 関喜比古（2009）「小学生の農山漁村体験学習～子ども農山漁村交流プロジェクト始動～」『立法と調査』 No.297。
- 鈴村源太郎・中村敏郎（2009）「日本における小中学生を対象とした体験教育旅行－農村地域活性化政策との関連で－（第 6 回北東アジア農政研究フォーラム報告）」『農林水産政策研究所レビュー』 No.31， pp.11-12。
- 鈴村源太郎（2009a）「地域農業の活性化に貢献する子どもの農業体験教育旅行（動向解析）」『農林水産政策研究所レビュー』 No.31 ， pp.24-34。

- 鈴木源太郎（2009b）「小中学生の体験教育旅行受け入れによる農村地域活性化（調査・資料）」『農林水産政策研究』No.15, pp.41-59。
- 田中治彦（1994）「成人するまでの生涯学習」香川正弘・宮坂広作編『生涯学習の創造』，ミネルヴァ書房。
- （財）地域流通経済研究所（2003）『観光立県を目指して－観光消費額の経済波及効果 1.77 倍－』。
- 地産地消文化情報誌『能登』編集室（2011）『能登』（経塚幸生編集発行），vol.3。
- 徳野貞雄（2007）『農村の幸せ，都会の幸せ』，生活人新書。
- 西願博之（2009）「体験活動をめぐる経緯と課題」『青少年をめぐる諸問題 総合調査報告書』国立国会図書館。
- 全国農業協同組合中央会（2002）『地域と学校が連携して取り組む子ども農業・農村体験活動ハンドブック（学校活動編）』。
- 全国農業協同組合中央会（2003）『子ども農業・農村体験活動ハンドブック（地域活動編）』。
- 陣内義人（1990）「農のもつ教育力」今村奈良臣・吉田忠編，七戸長生・永田恵十郎・陣内義人著『食糧・農業問題全集 8 農業の教育力－人と自然を活かす道－』，農山漁村文化協会。